

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	障害者社会参加援助					所管	福祉部	
							障害福祉課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	65	計画事業名	障害者の文化活動支援			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						事業の開始・終了年度
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり						[事業開始] 平成27年度
		[施策] ①文化に触れる機会の充実						[終了予定] - 年度
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区松が谷福祉会館条例				
	事業対象	18歳以上65歳未満で維持期の訓練の必要な中途身体障害者・障害者や家族及び障害者の支援を行うボランティア団体						
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 医療終了後(維持期)の身体障害者に対し、日常生活の自立・社会参加を目的として理学・作業・言語療法等の専門的な訓練・指導・助言を行う事により機能の維持・改善を図る。 障害者の社会参加プログラムを充実させるため、ボランティアの育成を行う。 						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援センター事業として脳卒中等中途障害者の機能回復訓練の実施。利用者個々に合わせ、専門療法士による週1～2回の訓練、社会参加や社会資源の活用を目的とした外出訓練の実施。 社会参加プログラムの実施(講習会・外出訓練・自主サークルの設置及び運営支援等) 事業に関連するボランティアの育成(新規育成及び既存ボランティアのレベルアップ講座等の実施) 						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	国・都							
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値(30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	機能回復訓練在籍者数	人	17	16	17	17	
		社会参加プログラム実施回数	回	340	382	355	351	
	成果指標	機能回復訓練延利用者数	人	2,100	1,983	2,075	2,081	
		社会参加プログラム延参加者数	人	1,800	2,175	1,877	1,826	
	決算額 (単位：千円)				16,475	18,127	18,596	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			26,996	32,062	33,916	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			531	1,130	1,427	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	976	1,089	
		総経費			27,527	34,168	36,432	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			8,937	8,696	8,313		
	一般財源(区負担額)			18,590	25,472	28,119		
前回評価から改善した事項	台東区地域リハビリテーション研究大会において、本事業を発表・報告し、事業の周知とともに活用の案内に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	継続的な機能訓練が必要とされる脳卒中等中途障害者(若年層)の行き場が乏しい現状の中で、より地域生活に密着した社会参加を目的としたリハビリを行っている松が谷福祉会館機能訓練室の必要性は高い。					
	効率性	3	リハビリボランティアを養成し活用することで、障害のある方に一对一の対応ができ、訓練室だけでなく行事や外出等、より地域生活に密着した質の良い訓練に結びついている。					
	手段の適切性	3	地域リハビリテーション関係機関との連絡会を活用し、医療・介護・福祉の連携と役割分担を明確にしている。また、ボランティアを育成し活用することで障害のある方が安心して集い、講座や講習会に参加できている。					
	目的達成度	4	専門療法士が個々の障害状況に合わせて立案した訓練メニューを本人の写真入りで作成するなど丁寧に対応し、有効かつ積極的に活用されている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性		
医療の現場において「介護保険の利用に馴染まない若年層の方が、継続的に利用できるリハビリの場がない」ことが課題となっている中、利用者の自主性を尊重し、かつ社会参加を目的としたリハビリを継続することができる本事業の役割は大きいことから、引き続き事業を実施していく。						維持		
						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		